

2021

ぶうげん
びりあ

3

月号

No.329

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

あれから 10 年

校長 新妻 茂

2月13日午後11時08分頃。福島県沖を震源とするM7.3の地震があり、福島県浜通り北部と宮城県蔵王町で震度6強を観測しました。この地震もあの2011年（平成23年）3月11日午後2時46分に発生した大地震の余震だと言われています。あれから10年が経過しようとしています。あの時、自分の身に何が起こったのか思い返してみました。当時、私は板橋区立西台中学校に勤務しておりました。板橋区は震度5強を観測しました。

カタカタカタと小刻みな振動を感じた。自分の時計で午後2時46分を確認した。咄嗟に緊急放送のマイクを取った。「地震です。自分の身を守ってください」と言ったとたん、大きな揺れが続いた。ユッサユッサと今まで感じたことがない揺れだった。直感的にこれは三陸沖の地震だと思った。数日前に三陸沖を震源とする震度5クラスの地震があったからだ。それにしても長い揺れだった。職員室の机の引き出しが飛び出した。棚の上の物も落ちてきた。3分近く揺れていたと思う。揺れがおさまったところで、「校庭に避難してください」と放送した。校庭に避難した生徒の無事を確認した。その後、再び大きな余震があった。揺れる校舎を見て泣き出す生徒もいた。空を見上げると旅客機が多数、東京上空を旋回していた。まもなく自衛隊のヘリコプター編隊が北へ向かって飛んでいった。生徒を下校させ、全職員を職員室に集めて校舎の損壊がないか点検するよう指示した。点検の結果無事が確認されたところで、全職員を帰宅させた。午後4時頃だったと思う。自分はおそらく電車が動いてないので帰宅できないだろうと考え、学校に残ることにした。その間、大津波警報が出ている岩手・宮城の沿岸部の映像をテレビで確認した。ふと今晚食べる物がないことに気付いた。近くのコンビニに行ったが物がほとんどなかった。ある物を買って学校に帰る時に、ガソリンスタンドを見たら長蛇の車列ができていた。午後8時頃になって自分の家族、いわき市にいる妹家族、親戚の無事が確認できた。テレビの画像を見ていて、岩手や宮城の情報はあるのに、何で福島県沿岸、いわき市の情報が入って来ないんだろうと思った。これは後で知ったことだが、第一原発が危ないという情報が報道関係者に流れ、ほとんどの報道関係者が住民より先に福島からいなくなったからだ。午前1時頃、都営三田線が動き出したという情報があり、西台駅に行ってみたが、電車が来たのは午前3時頃だった。地下鉄を乗り継ぎ新宿に出て西武新宿線に乗り、自宅にたどり着いたのが午前8時頃だった。まだ西武線が動いていたので着替えて学校を目指した。山手線が動いてないので、都電荒川線を使って庚申塚まで行って三田線に乗り換えた。学校に着いて再度施設を点検した。テレビを見たら、福島中央テレビのカメラが第一原発の水素爆発の様子をとらえた。瞬間、自分のふるささが壊れると思った。

被災地のみなさんをはじめ多くの人たちは私などが経験したことよりもさらに大変な思いをされたと思います。被災者や避難を余儀なくされている人たちの中には日常性を取り戻すのに今も多くの苦勞をされている方もいます。あれから10年が経とうとしていますが、今の小中学生はほとんど震災があったという記憶もないし、知らない世代になってきました。震災をどう継承していくか大きな課題です。あの当時小学生だった今の高校2年生以上の人たちがどうかかわってくれるか期待したいところです。防災教育や防災の専門家グループが、3月11日を全国の防災力を高める目的で、「防災教育と災害伝承の日」にしようと政府に働きかけて、2022年からの実施を目指しています。3月11日が忘れ去られないようにしたいものです。

激動の1年間でした。昨年度の3月、6年生の担任を受け持つことになると知った私は、不安でいっぱいでした。すでに広がり始めていた新型コロナウイルス感染症。スタートダッシュを切らせてくれない4月の休校。小学校生活の中でも大切な1年間を子供たちにとって最高のものにできるのか、そんな思いでした。

しかし、そんな不安は、子供たちがすぐに消し飛ばしてくれました。「来年の3月、胸を張って最高の卒業式を迎えられるようにしよう。」そう言って始まった1学期。残念ながら、運動会が中止になってしまいました。それでも、子供たちはくじけませんでした。自分たちでミニ運動会を提案・企画し、5年生と共にやり遂げました。

2学期は、幸運にも学芸会を実施することができました。それぞれの役割を精一杯演じるだけでなく、4年生や初めて学芸会に臨む1年生を引っばる背中がとても頼もしかったです。本番で全力を出し切ることができた感動は記憶に新しいです。また、父島移動教室にも行くこともできました。父島では、5人全員で協力しながら集団生活を送りました。また、父島で働く方々の仕事についても学びを深め、自分の将来についても思いを巡らせました。

3学期、卒業が間近です。1月の学習発表会や2月の総合・太鼓の発表会では、少ない準備期間の中で力を発揮しました。また、6年生を送る会で、下級生の思いのこもった出し物を見て、卒業への思いも高まってきています。

学級目標「最高学年として何でも挑戦し お手本となり 学校をまとめて頼られる6年生」となり、胸を張って卒業できるよう願っています。

小学校 6年生を送る遠足・6年生を送る会

小学校では、2月19日に、6年生を送る遠足と6年生を送る会を行いました。1年間、最高学年として頑張ってくれた6年生への、感謝と激励の気持ちを伝える一日を、みんなで楽しく過ごしました。

午前中は、5つのグループに分かれて指定された場所でミッションをクリアする「遠足」に行きました。次期最高学年の5年生がリーダーとなり、各班で仲良くミッションに挑戦しながら楽しい時を過ごすことができました。お昼に全員が集合した評議平では、広いグラウンドいっぱいを使っての「子供」VS「大人」の「こおりオニ」で大盛り上がり。大汗をかきながら、久しぶりに思いっきり走り回って遊ぶことができました。

午後は体育館で「送る会」を行いました。下級生が学年ごとに工夫をこらし、6年生との思い出になるような出し物を披露しました。1・2年生は「6年生と長縄跳び&南洋踊り」、3年生は「6年生クイズ」、4年生は「6年生と勝負」、5年生は「6年生の思い出」です。下級生全員が、大好きな6年生のために一生懸命準備してきた気持ちが伝わりました。そして最後に、6年生から下級生に「手作りの雑巾」が贈られました。コロナ禍の1年間でしたが、立派に母島小学校をまとめてくれた6年生。中学生になっても、がんばってね！

沖港での「いってらっしゃい」まで、残りわずかとなりました。卒業式の日がもっと先だったらいいのにと感じてしまいます。ははしま丸に乗船するまでの残り1ヶ月は、今日まで共に過ごしてきた島の方々や、母島の自然との時間を大切に過ごしてほしいと思います。

教室ではたくさんのお話を聞きました。習い事のこと、授業で面白かったこと、お気に入りのTV番組、プレゼントをもらった話、随分へこんでいる日もありました。学校の外でもいろいろなドラマがあることを、私に教えてくれました。

1年生、みんなから「かわいがられている」印象の生徒でした。何事にも興味をもって取り組み、自分の可能性を夢見ることのできる生徒でした。

2年生、母島を旅立つための準備を始めました。自分で決めること、苦手でもやらなければならないことがあること。自分と向き合う生徒になりました。

3年生、島で生きてきた時間の重みを感じさせる、風格のある生徒になりました。中学校の幹となる存在として、冷静な振る舞いがみんなに安心感を与えました。

私は、中学3年生の今の姿が一番頼もしく感じます。それは、会話や表情のなかに思慮深さがあるからです。様々な経験を通して、楽なことばかりではないことを知り、自分の責任や国際的な課題にも向き合ったからこそ出る、感受性の表れだと思います。だからこそ、喜ぶことや笑顔でいる時間の尊さを心から感じ、表現できるのでしょう。

中学校生活は、学業やコミュニケーション能力の育成、自分と向き合う事で精一杯です。それに加えて、島を出て生活する能力まで身に付けるためには、相應の負担を強いることとなります。本来であれば中学生らしくしてほしいと思うような場面でも、一歩先の考えを理解してトレーニングすることが必要でした。新しい生活で、積み重ねてきた力が発揮されてくることと思います。

母島を出たら、同級生がいないということはないでしょう。そして、これまで一喜一憂していたことがすべてではないと気付くと思います。そうして広い世界を感じてくれることが、担任の私にとっては何より嬉しいことです。

最後になりますが、いつも生徒を見守り支えて下さった地域の皆様、いつも温かく、時に厳しく、子供の成長にご尽力いただいた保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

3月の生活指導

生活目標

「1年間のまとめをしよう。」

- ・1年間の学習や生活を振り返ろう。
- ・思い出に残る卒業式にしよう。
- ・進級・卒業への心構えや準備をしよう。

安全指導

「1年間を振り返り、来年度へ向けて」

今年度の生活の様々な場面で安全に過ごすために気を付けたことや、身に付けたことを確認し、来年度への反省点や継続していくことなどをまとめ、校内外で安全に過ごす態度を育てます。

避難訓練 予告なし

地震が発生し、1時間後に津波が来襲すると想定した避難訓練を行います。

放送の指示をよく聞いて、誘導者の指示に従い、安全かつ素早く冷静な避難行動を身に付けさせます。津波の時の避難経路、集合場所を確認させます。

見送り式・出迎え式の中止について

今年度の見送り式ならびに新年度の出迎え式はコロナウィルス感染拡大防止のため中止となりました。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

表彰等のお知らせ

◇第80回全国教育美術展

全国入選 中学校2年生 1名

東京都佳作 小学校5年生 1名

春季休業中の学校図書館一般開放日

○期間

令和3年3月26日(金)

令和3年3月29日(月)～4月2日(金)

○利用時間 9:00～12:00/

13:30～16:30

※上履きをご持参ください。

※職員に一声かけてからのご使用をお願いします。

3月の主な行事予定

			16	火	
1	月	朝礼 安全指導 (小3・4)保護者会	17	水	
2	火	(中)保護者会	18	木	卒業式予行
3	水	南崎校外学習(小1・2年)	19	金	卒業式前日準備
4	木	(小5・6)保護者会 (小6)中学校新入生保護者説明会	20	土	春分の日
5	金	パンの日 (小6～中2)次年度部活動説明会	21	日	第46回母島小中学校卒業式
6	土		22	月	振替休業日
7	日		23	火	
8	月	朝礼(保健指導) (小1・2)保護者会 SC在島～10日まで	24	水	
9	火		25	木	修了式 離任式
10	水		26	金	春季休業日始 図書館開放始
11	木	大掃除・周辺美化	27	土	
12	金	(中)卒業行事	28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	
15	月	中朝礼	31	水	